



ベランダ設置用金具も各種市販されているので、自宅のベランダ形状に合ったものをご購入しよう



地デジ電波の送信所にアンテナを向けて設置するのが基本だが、反射電波を利用できる場合もある

なお、反射電波の場合は、天候などによる受信レベルの変動により、受信画像が安定しないこともあります。



アンテナからTVセットまでは同軸ケーブルで受信電波を導く
同軸ケーブルやコネクタの使い方は第3章で詳細に解説している

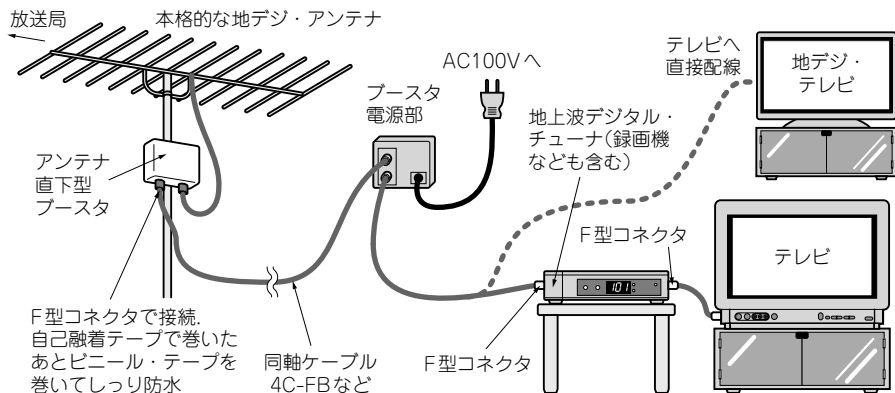
2-3

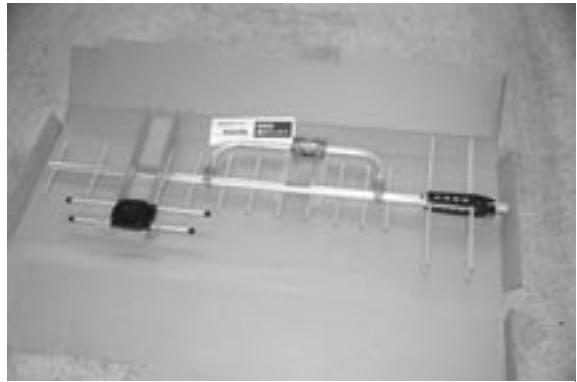
八木アンテナ

アナログV/UHF時代からのTV電波受信の標準的アンテナといえましょう。

アナログ・テレビ放送は大きく分けてVHFロー・チャンネル、VHFハイ・チャンネル、UHFと三つの周波数帯を使っていましたので、VHFのアンテナはエレメントが長く大型のものが、またUHFのアンテナは広帯域なものが求められました。

周波数帯も異なるために、VHF用、UHF用と2本のアンテナの設置が標準的で





地デジ放送電波はUHF帯の一部の周波数に凝縮されているために、小型でも高性能なアンテナになっている

これまでのアナログ・テレビ放送ではVHF/UHFの2本のアンテナが必要だった

したが、地デジ放送はUHFの一部の周波数帯に放送波が凝縮されたために、アンテナ設置は1本で済むようになり、小型で高性能なアンテナを使うことで、屋根への設置負担が大幅に軽減されています。

● 弱電界設置用

送信所から比較的遠方の放送電波が弱い地域での受信は、アンテナにある程度の



弱電界用アンテナ

多数のエレメントが配置され地デジ用UHFアンテナでも大型の部類にはいる



設置にはしっかりしたマスト
や取付金具など周辺機材が必要
になってくる

利得がないと安定して受信することが見込めません。

このような地域では、弱電界用の多エレメントのアンテナを設置します。

● 超高性能タイプ

弱電界でも特に電界強度が低く、アンテナに大きな利得が必要な場合に使用します。2009年初頭現在で代表的なアンテナを表にしました。参考にしてください。

弱電界地域では、専用のアンテナを選ぶだけでなく、同軸ケーブルや電波を電氣的に増幅するブースタの設置なども考慮に入れます。

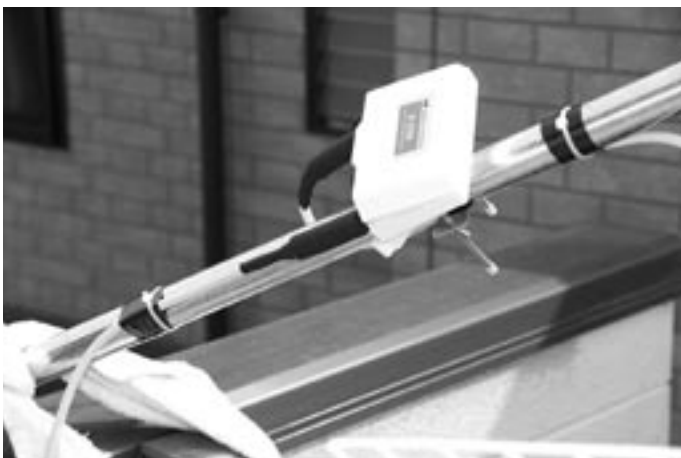
弱電界用の高性能アンテナの一例

マスプロ LS14TMH(14エレメント)	ch13 ~ ch28 感度11 ~ 13.5dB ch29 ~ ch36 感度10.5 ~ 13.5dB	水平・垂直偏波両用
マスプロ LS20TMH(20エレメント)	ch13 ~ ch28 感度13 ~ 14dB ch29 ~ ch36 感度10 ~ 14.5dB	水平・垂直偏波両用
マスプロ LS30TMH(30エレメント)	ch13 ~ ch28 感度15 ~ 16dB ch29 ~ ch36 感度12 ~ 16dB	水平・垂直偏波両用 アクティブ型アンテナ (アンプ内蔵型で電源が必要)
マスプロ TT2B オートブースタ内蔵	感度5 ~ 7dB	屋内・屋外用・水平偏波専用
マスプロ SC2B オートブースタ内蔵	感度4 ~ 5.5dB	屋内・屋外用・屋内では水平 偏波専用・屋外設置の場合は水 平・垂直両用
マスプロ UDC2AG-SET オートブースタ内蔵簡易型	感度2.5 ~ 4.5dB	水平偏波専用

参考： でWeb表示



弱電界地域のうちでもさらに電波が弱い場合は、エレメントの配置や反射板に工夫を加えた、高性能のアンテナを選択する



アンテナと組み合わせて使う受信ブースタの例

● 強電界地域での八木アンテナ

送信所のそばの強電界地域でも屋外にアンテナを設置すれば、より安定したきれいな画像で受信することができます。

強電界地域では多数のエレメントを持つ高性能なアンテナは必要ありません。強電界地域用に作られた、数本のエレメントのアンテナで十分です。設置する場所も



強電界地域でも屋外に専用のアンテナを設置することで、よりきれいな地デジ放送を受信できる
ほんの数エレメントのアンテナでも効果絶大



軒先に設置しても十分
専用のベランダ・アンテナよりも安価なものも大きな
メリットだ

ベランダなどで十分で、先に紹介したベランダ専用のアンテナよりも安価に買い求めることができます。

屋外に設置する受信アンテナは、送信所の位置を確認し地図で方位を確認(方位磁石・GPSなどを用いて)してその方向に向けるのが基本です。

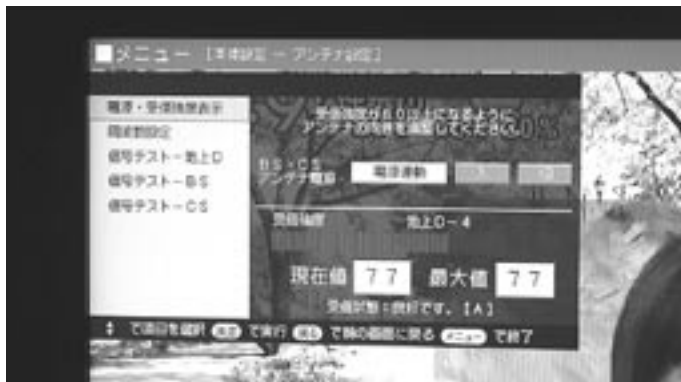
ただし、これはその方向に障害物がないことが条件で、実際の設置では必ずしもすべての場所で送信方向への設置があてはまるとは限りません。

送信所の方向に向けても受信レベル(受信機やチューナのメニュー画面から出して確認)が上がらない場合は、アンテナの方向を少しずつ変えてレベルの数字が上がる場所を見つけるようにする方法もあります。

デジタル放送の場合は電波が弱い場合、画面がザラつくようになるのではなくモザイクのようなブロック・ノイズが出て突然画面が映らなくなったりします。



アンテナは送信所やテレビ放送塔などの方向へ設置する。送信所の異なる放送局を受けるときは、2方向へ設置するなど必要



デジタル・テレビの受信レベル表示を利用する方法もある



デジタル・テレビ受信は画面にブロック・ノイズ(四角の画面不良部分)が出て突然見えなくなる

強電界用のアンテナの場合はある程度指向性がゆるやかに作ってあるため、送信所方向に大雑把に向けるだけで放送は安定して受信できます。逆に弱電界で高性能のアンテナを使用する場合はアンテナの指向性がとても鋭いため、方向は慎重に決める必要があります。